

# 地域独自の 薬物乱用防止啓発活動の取組み

-地域住民参加型薬物乱用防止ポスターコンテストの開催-

御殿場健康福祉センター 衛生薬務課

○三枝良輔 伊東春菜 宮本憲吾 田中恵美

# 背景



## 薬物乱用の現状

- ・近年、県内の大麻事犯の検挙者数は、覚醒剤事犯を上回っており、令和6年大麻事犯の青少年が占める割合は76.4%となっている。
- ・市販薬を大量に服用するオーバードーズ（過剰摂取）が若年層を中心に広がり社会問題化しており、御殿場保健所管内でも中学校や高校などで複数の事例が確認されている。



地域住民が主体となり、地域での見守りや日常的な関わりを通じた、新しい形での薬物乱用防止啓発活動が求められているのでは？

## —静岡県薬物乱用防止ポスター・標語コンテスト—

- ・昭和58年から、県内中学・高校生を対象に毎年実施
- ・応募数の減少及び生成AIの技術進歩等を理由に、令和5年度で事業終了



地域独自の取組み  
として設計する  
チャンス

# 「御殿場地区薬物乱用防止ポスターコンテスト」を企画



主催：御殿場地区薬物乱用防止指導員協議会  
(事務局：御殿場保健所衛生薬務課)

## 目的

子どもから大人まで幅広い世代が薬物乱用問題を身近な課題として考え、地域で問題意識を共有すること。

## 現状<県の取組状況>

県内すべての小学生（5年生以上の高学年）、中学生、高校生等を対象とした「薬学講座」を実施

➡ 児童生徒が参加しやすく、家庭とも協働しやすい  
仕組みづくり

# 「御殿場地区薬物乱用防止ポスターコンテスト」 事業設計①

➡ 「参加のハードル」を徹底的に下げる。



## 御殿場地区薬物乱用防止 ポスターコンテストのお知らせ

～薬を正しく使うことを伝えるポスターを募集します～

### テーマ

- 薬物乱用ってなに？ どうしてダメなの？
- 「大麻」って聞いたことある？
- 薬をたくさん飲んでしまう「オーバードーズ」って？



★ポスターは、必要以上に怖がらせたりする表現ではなく、正しく使うこと、まわりの人にやさしく伝えることを大切にしています。

### 参加できる人

- 御殿場市、小山町の学校に通っている小学5年生から高校生までの生徒。

### 賞品があるよ！

- 入賞作品には記念品が贈られます。
- 全員に参加賞があります！

### ポスターのルール

- 大きさ：四つ切り(54×38、3cm)
- 自分で描いた新しい作品(1人1枚)
- 好きな道具で描いてOK！  
例：絵の具、クレヨン、色鉛筆、貼り絵等
- 特定の商品名などは記載しないでね。
- こちらを参考にしてみてください。  
厚生労働省HP！

### ポスター展示と投票

- 令和7年9月27日(土)「第42回御殿場市ふれあい広場」で展示します。
- 来てくれた方に投票してもらって入賞作品を選びます。

### しめきり

- 令和7年9月1日(月)までに学校に提出してね！



御殿場地区薬物乱用防止指導員協議会  
事務局 静岡県御殿場保健所 衛生業務課

0550 (82) 1223

## 工夫のポイント

- ①身近なテーマ設定：小学生に馴染みのある、  
ポスター形式に限定
- ②参加しやすい時期：募集期間は、夏休み期間
- ③生徒向けのわかりやすい募集要領を作成
- ④家族で話し合えるようQRコードを掲載
- ⑤募集要領裏面には、デザイン学校が作成した  
県啓発品イラストを例示
- ⑥賞品及び参加賞を設置

る小学5年生から高校生までの生徒。

○全員に参加賞があります！

## 📄 ポスターのルール

- 大きさ:四つ切り(54×38.3cm)
- 自分で描いた新しい作品(1人1枚)
- 好きな道具で描いてOK！  
例:絵の具、クレヨン、色鉛筆、貼り絵等
- 特定の商品名などは描かないでね。
- こちらを参考にしてみてください

厚生労働省HP↓



大麻よりも対話



小学生用



中高生用

## 🏠 ポスター展示と投票

- 令和7年9月27日(土)「第42回御殿場市ふれあい広場」で展示します。
- 来てくれた方に投票してもらって入賞作品を選びます。

## 📅 しめきり

- 令和7年9月1日(月)までに学校に提出してね！

御殿場地区薬物乱用防止指導員協議会

事務局 静岡県御殿場保健所 衛生薬務課

0550(82)1223

# 「御殿場地区薬物乱用防止ポスターコンテスト」 事業設計②

➡ 「寄り添い、支える」視点を追加



**御殿場地区薬物乱用防止  
ポスターコンテストのお知らせ**  
～薬を正しく使うことを伝えるポスターを募集します～

テーマ

- 薬物乱用ってなに？ どうしてダメなの？
- 「大麻」って聞いたことある？
- 薬をたくさん飲んでしまう「オーバードーズ」って？

★ポスターは、必要以上に怖がらせたりする表現ではなく、正しく使うこと、まわりの人にやさしく伝えることを大切にしています。

**参加できる人**

- 御殿場市、小山町の学校に通っている小学5年生から高校生までの生徒。

**賞品があるよ！**

- 入賞作品には記念品が贈られます。
- 全員に参加賞があります！

**ポスターのルール**

- 大きさ：四つ切り(54×38、3cm)
- 自分で描いた新しい作品(1人1枚)
- 好きな道具で描いてOK！  
例：絵の具、クレヨン、色鉛筆、貼り絵等
- 特定の商品名などは描かないでね。
- こちらを参考にしてみよう！  
厚生労働省HP！

**ポスター展示と投票**

- 令和7年9月27日(土)「第42回御殿場市ふれあい広場」で展示します。
- 来てくれた方に投票してもらって入賞作品を選びます。

**しめくり**

- 令和7年9月1日(月)までに学校に提出してね！

御殿場地区薬物乱用防止指導員協議会  
事務局 静岡県御殿場保健所 衛生業務課 0550(82)1223

## 工夫のポイント

- ⑦ 「二次予防・三次予防に配慮した表現」を条件化
  - ・薬物問題の当事者や家族を孤立させない表現
  - ・回復を応援し、相談を促すようなメッセージ
- ⑧ 御殿場市の健康福祉祭「ふれあい広場」で、**来場者による投票形式**で入賞者を選定
- ⑨ コンテストの参加有無に関わらず、**全生徒へ配布を依頼**→家庭での対話のきっかけづくり

# 応募結果

応募総数63人

➡ 地域の高い関心を映す、予想を上回る応募結果

| 部門  | 総合    | 大麻    | オーバードーズ | 計      |
|-----|-------|-------|---------|--------|
| 小学生 | 7人/3校 | 1人/1校 | 20人/1校  | 28人/5校 |
| 中学生 | 1人/1校 | 0     | 0       | 1人/1校  |
| 高校生 | 1人/1校 | 0     | 0       | 1人/1校  |
| 計   | 9人/5校 | 1人/1校 | 20人/1校  | 30人/7校 |

- ・初めて募集対象とした小学生からの応募が大半であった。
- ・テーマ別では、「オーバードーズ部門」への応募が、校内選考も含めて、最も多く、児童生徒にとっても、身近な課題であることが示唆された。

一方で、..

応募の偏り

~~当初の計画~~  
部門ごとの選考

選考方法を再設計

# 選考方法の再検討

| 投票用紙  |   |
|---|---|
|  | 「薬物乱用防止へのメッセージが心に響いた」作品<br><input type="text"/> |
|  | 「前向きな気持ちややる気を感じる」作品<br><input type="text"/>     |
|  | 「薬物乱用防止のメッセージが強く伝わる」作品<br><input type="text"/>  |

※イメージ図

ねらい

- ①投票者には、「メッセージ性」を評価してもらうこと
- ②投票行為が、薬物乱用問題を主体的に考える機会となること



投票数510票

当日、ポスターを観るだけの「受け手」であった投票者は、会場を何度も往復して熟考、共感を醸成して「主体的な参加者」となった。

# 選考状況と入賞作品

保健所HPで公開



### 小学生の部

最優秀賞 優秀賞 佳作

ここに響く賞

### 前向き応援賞

最優秀賞 優秀賞 佳作 佳作



投票協力賞

### 中学生の部

最優秀賞

### 高校生の部

最優秀賞

### ダメ。ゼッタイ。賞

最優秀賞 優秀賞 佳作 佳作

# イベント後の啓発活動①「参加賞」全員配付



## 参加者への意識づけ

- ・参加賞に、メッセージカードを添付
- ・メッセージカードには、感謝の気持ちとともに、自分の作品が「誰かの助けになるのかもしれない」という励みを添える
- ・子ども達一人ひとりが、**薬物乱用防止活動を担う重要な一員**であることを伝える



一過性のイベントで終わらせず、**持続的な啓発活動**となった。

# イベント後の啓発活動①「参加賞」全員配付



## 参加者への意識づけ

- ・参加賞に、メッセージカードを添付
- ・メッセージカードには、感謝の気持ちとともに、自分の作品が「誰かの助けになるのかもしれない」という励みを添える
- ・子ども達一人ひとりが、薬物乱用防止活動を担う重要な一員であることを伝える



一過性のイベントで終わらせず、**持続的な啓発活動**となった。

# イベント後の啓発活動②薬局でのポスター展示



## 地域薬局での展示（30店舗）

- ・ 悩みを抱える住民が、日常的にメッセージに触れ、相談行動を促す一助となることを期待



メッセージを日常風景にして、地域全体で啓発の輪を育んでいく

# 考察



## 成果

- ① **高い地域関心**：予想を上回る応募があり、**地域住民の高い関心と本取組の受容性**が確認できた。
- ② **対話のきっかけ**：応募がなかった学校の生徒も、募集要領を家庭に持ち帰り、**保護者との対話のきっかけ**を生んだ。

## 課題

- ① **視点の浸透**：一部の作品で、「二次予防・三次予防」の**条件から逸脱**して、必要以上に恐怖心をあおる描写が認められた。
- ② **丁寧な啓発**：依存に苦しむ人への理解や配慮について、薬学講座等の場において、**より丁寧に啓発**していくことが必要。

# まとめ



## 成功要因

- ①**早期かつ包括的に**：予防教育の対象を小学生まで広げることにより、**基礎的な理解と意識を醸成**した。
- ②**対話を設計**：夏休みの課題にして、家庭を巻き込みやすい形式を採用し、**自然な対話の機会**を作った。
- ③**恐怖から支援へ**：「ダメ。ゼツタイ。」だけではなく、「悩みに寄り添う」「応援する」といった**共感と支援**のメッセージを重視した。
- ④**コミュニティを審査員に**：一般投票などを通じて住民の**主体的な参加**を促し、**地域全体の意識を高めた**。

➡ **地域主導型の薬物乱用対策（御殿場モデル）**

# 今後の展望



- ・ 入賞作品を今後の啓発資材として活用【検討中】
- ・ 継続的にコンテストを開催



幅広い世代が薬物問題を「自分ごと」として捉える気運を醸成



行政が地域に働きかけ、地域自らが見守り・相談しやすい環境を育む



地域住民・学校・関係機関等が主体的に問題と向き合える  
仕組みづくり

御清聴ありがとうございました。



## お問い合わせ先

静岡県御殿場保健所衛生薬務課

住所：御殿場市竈1113

電話：0550-82-1223 FAX：0550-82-4345